

鎌倉漫画漫談

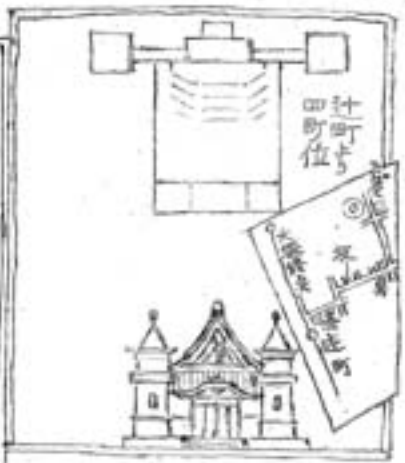
下谷一九二六

石井柏亭



白金丹波町光善堂院親子地境
上大崎四〇大森庫前佐々木
小石川五一〇一、新海
番町六六 文米民之助

青山北町四、一〇二
 鶴飼長三郎
 高等工芸
 千北研一
 三市勝三郎



小倉 翠 築鴨宮下一六五九
 防部胤齋 日暮里八三攝訪社社裏
 榎井 牛込袋菜町三山屋
 甲の六九
 河野康孝 青貴支縣

近州寺之
 田中清吉

上田有澤
岡松參太郎
大倉孫兵衛
前田利四郎
高田博
林有造
高田宗憲
竹内綱
肝付善行
三野村利七
徳川慶久
公方十十五
トシヤトシ
山縣有朋
市川段四郎
宇都宮太郎
神宮高壽
大西猪之助
阪井重季
牛場卓藏
高田信太郎
城本朗彦
澤本太郎
岡村司
前親王
前源帝カ

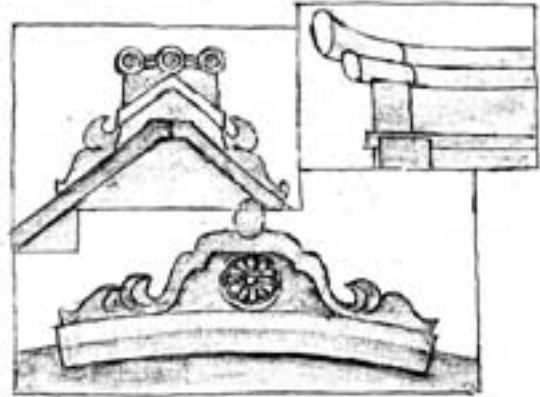
米田 謙
土居 通球
三須宗太郎
林多
三井 高保
佃 一誠
大隈重信
石黒五十二
三浦 重一
日下部 東作
坂坊 蘇山
鳥居 春洋
禪山 資紀
齋家 四藏
宮島 信吉
神野 金之助
切 正章
吉田 正章
竹本 攝子
矢衣 武
高島 小五郎
鹿子 小五郎
田中 源太郎

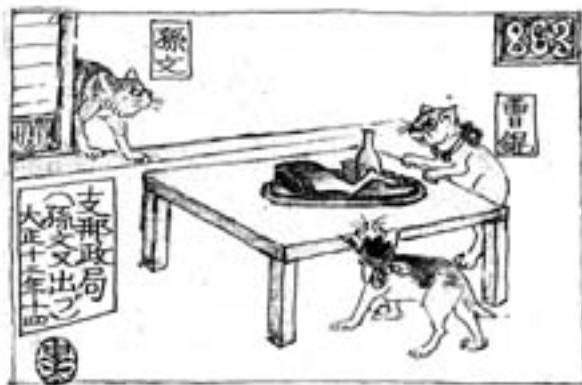
① 地理学上の新考察
神社/霊山と神社建築 世の遷移とのか(相對性運動)
神社/霊山の新考察

② 新之善と人相の家相
母國語を尊重せよ 日本に趣味とは何ぞや
地名古林殺す勿れ 門
終一に歸す 墓
建築形式の生存競争 名譽と器責

原白虎右印
高梁養四郎
池田承象
小島政治
餘家茂太郎
戸狩權之助
龜井陸良

何礼之
柳在藤右印
櫻井電二
朝奈林之助
島村淳一
小野金六





大江廣元墓

宝治元年(後深草)

之持桑村一椽五百人墓
宝治年間(後深草)

建長寺

鐘 建長七年 時相錡
山門 道隆撰

佛殿

法堂

方丈 唐門寛永の頃 金具是あり

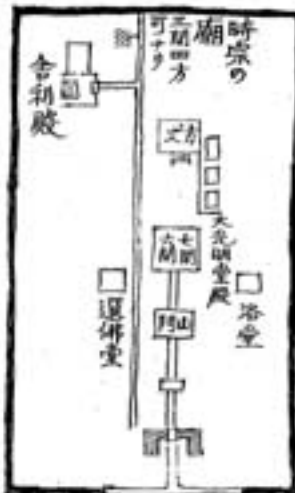
南山堂 鎌倉時代より

食堂 須弥堂 鎌倉 建長 不確

禪堂 西門ヤと見よ

長壽寺
門前 亀塔面白し
あらい燭
十王は国寶見よべし
淨智寺
山門 皇嘉門式 間 鐘樓兼
仙殿 墨萃殿
重層五層四面から椽
方形の中葺
東慶寺
見よべきよし

● 円覺寺



洪鐘
正安三年 辛丑八月初七日
北条貞時
宋沙門 子曇護銘
大空大和 守物部因光
勸進 宗証

● 芙蓉寺
今廢寺とある

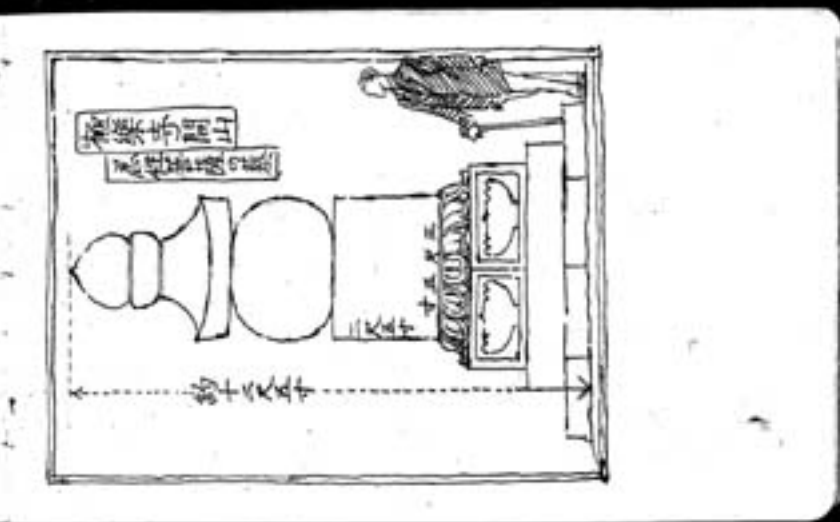
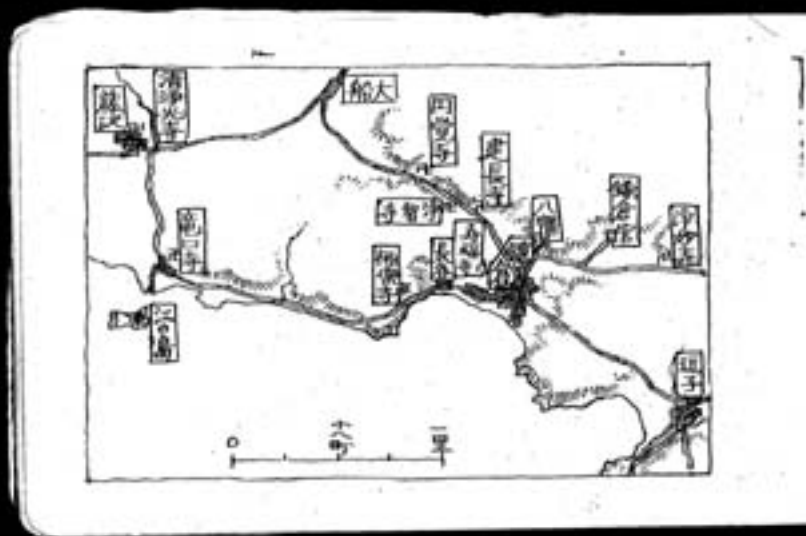
● 寺福寺
本堂から様やと見え六し
実朝の墓
五輪塔 鎌倉時代型
政子墓 見ず

● 長谷観音
門 文永元年維康親王作
四脚門 中央カドマタハ
古レリノ他ハ新

● 鐘 本堂五門六面和様方形
文永元年
大工物部季重

● 極樂寺
忍性ノ墓 五輪高十二尺
忍性當時(後鳥羽天皇)ノ形

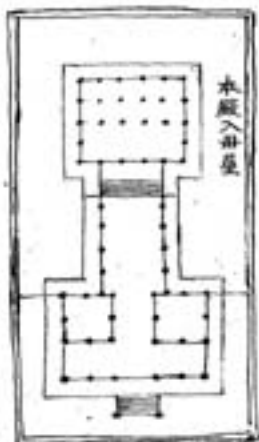




清浄光寺



五社神社



秀忠安藤對馬守
ヲ奉打ヒテ遊宮ニ
元和元年成ル

拜殿入母屋
正面向屏唐笠
千鳥焼瓦
柳山風
唐門の向唐門
梅皮葺

- 祭神
- ① 齊主命
 - ② 武甕槌命
 - ③ 天兒屋根命
 - ④ 太玉命
 - ⑤ 姫木神

諏訪神社

祭神

1. 武尊古方命

2.

殿障子能差ナリ



十二間

本殿流木造

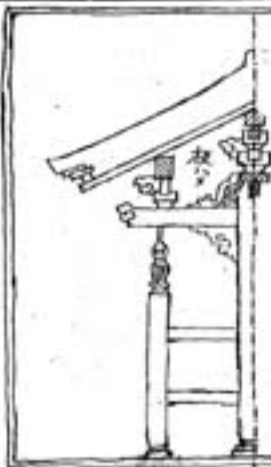
有瓦向有唐破風
 十鳥破原、八母屋
 繪様彫刻美
 佛了五社神社と全工
 全式
 只少く簡

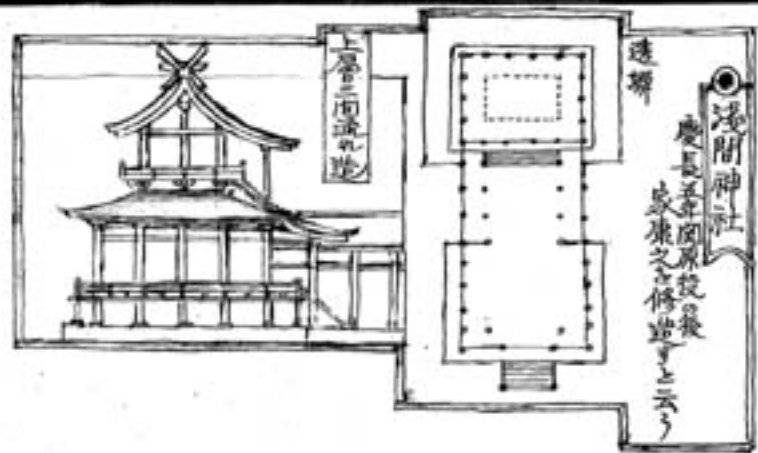
唐門

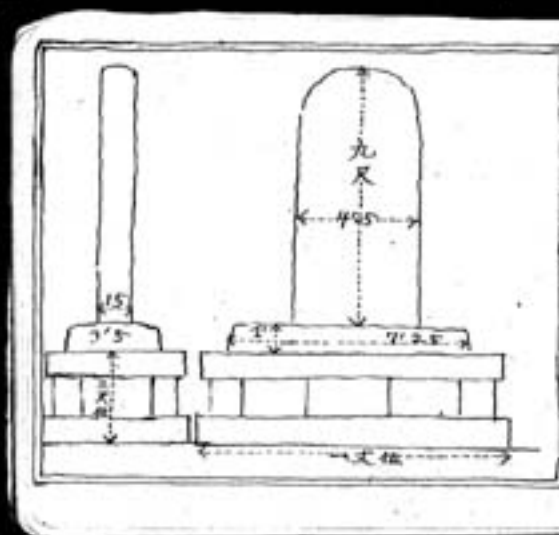
五社、南式同工。

三間、入母屋、中社、唐門と
同式、同工。

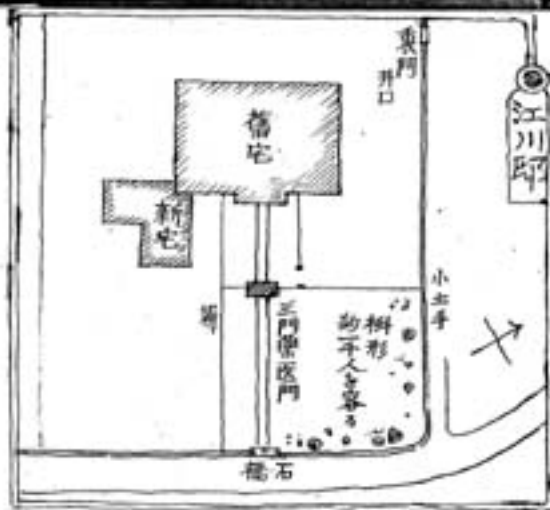
唐門の面







三鳥神社
 本社権現堂木殿流し造
 鳥居一池一榊門一鳥居一
 唐門一拜殿一木殿
 規模頗る雑然
 建築皆俗悪



文射火煉瓦
 七寸角厚七寸五分七寸五分
 瓦は多し、粗か石罫(石反)外不明
 普通形煉瓦を用了
 江川邸

建築の発達せる所以

今日の建築ハ依然然外國建築ノ模倣ナリ
 云々、当否ハ問題ナリカ、オレトナリシモ、先トモ
 ハ事、完全ニコレ種々ナル理由アルハ、因襲ナリ
 古來建築ハ、重んぜらるゝ、彫刻繪画ノみ
 重んぜらるゝ、然レ、繪行アリテ、專マレト、師マテ
 法橋、法眼ノ号アリ
 杉ノ、画、桐門ノ彫刻トシテ、徒、有名ニテ
 建築ノ設計者ト知ラレス
 法隆寺ノ如ク
 藤原氏ハ知ラレテ、壁画ヲ題シ、是等市ハ
 多ク知ラレス、工匠傳ハラス、
 鳳琴堂
 定朝ノ知レ、為成知レ、建築家傳ハラス
 日光
 陽明門ノ傑出ハ知ラレ、賦稱ノ彫刻知リ
 大棟梁、甲良豊後ハ知ラレス
 明治以後ノ建築ニ於テモ、然リ
 重要建築起ルモ、作者ノ名ハ世人知ラン
 ト、微セス知ラシメント、故セス、
 建築家ノ責任觀念、從テ、是レ
 懸命ノ努力セントハセス、
 建築家ニ對スル待遇薄キハ、過ク
 欧米ノ例
 パルテンノイデナス、及カテ、クラテス
 セント、イター、リ、ト、セ、ランシ
 原圖ノ例

俳ワカルエー
タージノ技師

某官廳ノ大建築ニ技師ノ名ヲ奪ゲテ
 就テ之ニ問ヘば、吾等ノ設計トヤケ
 知テ彫刻ヲ其繪画ハ某ト列挙ス
 人云ク、云ハシ、彫刻繪画ハ天才的藝術、家
 フ候ワモ、建築ハ必しも然ラズ、故ニ全ク上律スヘ
 カラスト
 建築ハ彫刻繪画ト均シカラズ、純藝ニ街
 ニアズ、アルモ、其平面ハ藝術ニテ、或モ建築家
 ハ多大ノ藝術的意味ヲ含ムコトヲ、單ナ
 建築家ノ責任モ、トスルハ過ナリ
 建築家ノ責任モ、トスルハ過ナリ
 努力モ不足
 只各自調音スルノミ



● 人相あり家相入

博覽會の建物

報知

1. 根本方針—博覽會建築、性質
2. 諸作家の分類
3. secession, 解
4. secession, 現代建築
5. 其批判(構想派、歷史派、起點)
6. 現代藝術、理想、表現派
7. 結論、今後建築、天下の心

實業之日本

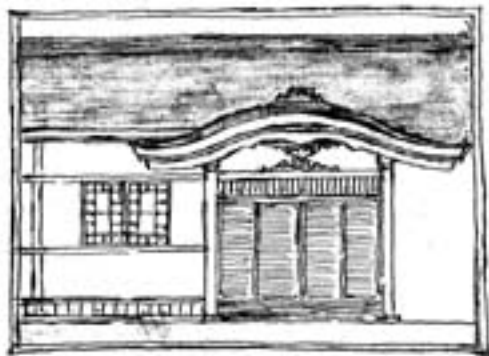
1. 根本方針—博覽會建築、性質
2. 諸作家の分類
3. secession, 現代派
4. 形、變化、統一
5. 色、變化、統一
6. 批判—similarity, 廣野の書評
7. 構想派、歷史派、起點、表現派
8. 結論、今後建築、天下の心

伊東
入今井五今江保中千大園大小葉吉
建澤内十柴村口梓條阪藤田竹沢村田橋井吳
清水岩山田下條

内村
登
山
下
條

設計工費	百八十坪	(坪×50円)	8500.0	} 9000.0
門三口			5000.0	
原設計			500.0	} 2500.0
本設計			1000.0	
監督			1000.0	
材料費			500.0	} 10060.0
器具	一月五十		200.0	
備品			200.0	
消耗品			300.0	
燃料			100.0	
通信			100.0	
旅費			600.0	
準備			300.0	} 500.0
式典				
現場主任			2160.0	} 3060.0
〃	8000		1280.0	
〃	70		1260.0	} 3420.0
〃				
調合			1000.0	} 1000.0
				700562

美術家倶楽部		百十元	業	業	業
川谷	銀	80-70	金	銀	銀
山崎	澤次	銅	1-78	銀	銅
香場	堀口	〃	2-76	銅	銅
教堂堂	土井	13-74	銅	銅	銀
美術家住	山中	袋	65	袋	袋
立権	三浦	〃	60	〃	〃
美術館	廣岡		60		
	市村		50		
祝賀	斯瀬		40		
	岡田		三		
出品総二十五元					



博覧会 内容は勿論工を建築物中
 目的より特殊の條件あり
 多量の工あり有る場合ハ其配置カチ
 各館ニ連絡
 各館の取舎り取寸ハハ眼を奪ハス
 無用なり

専修	工員	工手	高橋	工手	工手	工手	高橋	早工	學	學	松室	小倉
赤松精治	高井華野	大井幸一	千代	鈴木下吉	木村	蹟岡	小川	三目市	堀口	海澤	施工主任	設計主任
ク	ク	現	デ	現	デ	デ	現	デ	デ	デ		



一 建築史の意義

- 一、建築史とは何ぞや後に討論す
- 二、建築史の何をせよと云ふ事ニアの定義
- 三、建築史の何を為す事ヲヤ
- 四、他ノ工學ニ歴史知識ナレ建築獨アルハ何ぞヤ
- 五、建築ハ他ニ類ヲ異ナリ
- 六、他ノ純理ニ基キ此ニ趣味ヲ加ハル藝術
- 七、純理ハ二事ト古今東西ヲ超越す
- 八、趣味ハ古今東西ヲ異ナリ
- 九、ニカ四ノ古今東西ニカ三ニ通用セズ
- 十、趣味然ラズ牛肉も美スル事ナリ
- 十一、米飯モシツ取ルモハンズルモ此ノ化ニ類ト云フナリ
- 十二、純理實ニ點張ルモ趣味ハ波瀾アリ
- 十三、依今日心シキハハ勝ブス
- 十四、古ノ新能シテ美ヲ供シコレヨリ啓蒙ガルハ必要
- 十五、建築史ヲ研究シ將來ノ趨勢ヲ考ヘルヲ大事業
- 十六、建築史ハ文化ノ反映建築史ハ文化史ノ因
- 十七、民名時代心理ヨリ出マシ國民思想ノ反映
- 十八、大建築ノ進歩發達ヲ計リ清新ナル建築美ナル建築ヲ創意セシムルハ歴史ヨリ入手難

米沢邸の設計

小生は東京側の主張は甚だしく別荘兼分の小規模のものとせし。軽快洒落ある趣味を發揮するがごとく斜に総工費十萬円を越へざ一途を提出せり。

然るに米沢側の主張は全然之に反し名実共に御本邸に相應する規模とし嚴格莊重の趣味を發揮するの希望あり。

小生は前案に二万円を増加すれば豊永沢側要求に規模のふるふこと考へも、その依然別荘気分の中にとておぼへたり。

三 熟慮を以て嚴格ある正式の本邸を、管見には一坪の工費約千円に上るは、自明の事にして總工費は二十万円を要するものと覚悟せざるべからず。

四 この場合は三年の日子を費せしめれば成功し難く、来年四月は一部完成は思ひも寄らざる。

五 小生の提案の如く軽快ある別荘風のものを、或は一部は本年四月に竣工せしめ得べき中、これは米沢側の切なる反對あり同意せざるべし。

六 要するに大規模にして嚴格ある本邸の名実を具せしむる小規模にて輕格ある別荘の気分とすべし、この問題を徹底的解決するに非ざれば決定的立案を作り難し。

七 小生の容喙すべき問題は非ざるも、五款然として詳解するに、東京米澤両方に相當の地理あるが如く曲折ある中、その間は考案を進むるに不能なり。

八 若し米澤邸も重要な方針にすべし。

邸と申すは別荘と申すは異なる不傳要領の相震響を作らんか、その毎に問題を通じて工事の遂行せしめ、のみ其成績不白に終るべきは、日を睡るより明き、され小生の思ふべきありざる所あり。

九 此の境況に於て小生は、遺憾あるも、本工事に関係を絶ち度しと関与する事を得ず。

十 小生爰は一安否あり、即ち江部の原典に修正案による事あり、江部案は米沢側に於て再三考慮を費したる成案の由あり、之は由るべき米沢側の満足せらるべきありべし。

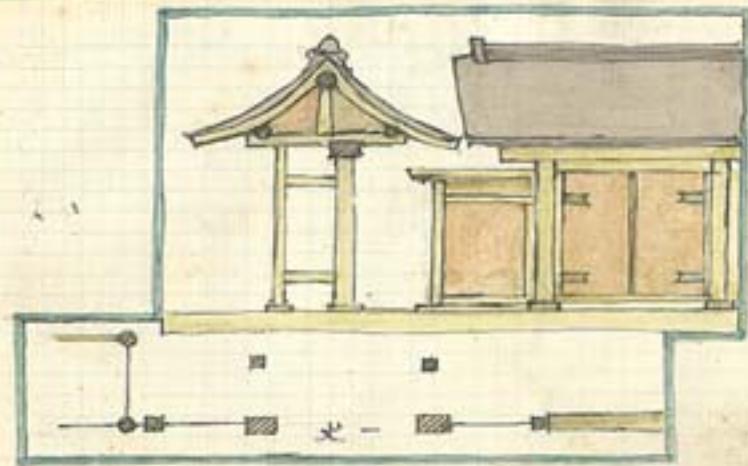
十一 夫は渡水邸式と見えて、中にして相當の規模を具へたり、只其趣味は小生の趣味と合はせざるあり、その個人の主観に屬する問題として深く傾意するに足らずとも、辭せ難らざらん。

十二 且つ現場に就て見ると木材石材等大部は江部案に基きて準備され、既に或もの程度に工作を完了し、或ものは既に注文の交渉中にて今更取消し難き事情ありと云ふも、江部案と由て急遽に施工するは兎も角、得策と云ふべきか。

十三 江部案は比較的低廉なる設計にて之を採用するも、総工費十二萬圓に過ぎざるべし、又一設計監督費、以下事務費の大部分を皆均し得るの利あり。

十四 この場合奥米沢師を囑託し、随時現場を視察し、工匠を指導せしむれば、協都合ふるべし、米沢側は、於ても、この方法を取らざるべし、居たり。

十五 要するに小生は、朝邸の米沢論に就て、米沢、東京両方の意志疎通し、款然として相互に諒解するに非ざれば、工事に関与する事を得ず。小生を以て見れば、寧ろ、江部案を採用せられたるを、突進せらるるより、便するに如かりし。



今日上棟式
 今日上棟式を無事終了せしむは、
 同慶あり、余は工事設計監書の
 重任を帯ることも光榮とす。



福光行程 四月 14, 23, 30,

五月六日(土) 午後7.00 上野発 (金沢行) 2.3 高岡着
 七日(日) 午前3.52 直江津着 4.00 発 7.22 高岡着
 8.23 高岡発 9.37 福光着
 午後6.58 福光発 8.18 高岡着 8.31 発
 11.51 直江津発
 八日(月) 午前9.15 上野着

米澤行

四月 ㊦ 26 午後 7.10 上野発
 ㊧ 27 午前 7.35 米澤着
 ㊨ 28 午後 7.45 米沢発
 ㊩ 29 午前 5.50 東京着

殊に況や、今は当地出身者として我郷里の藩祖を祭神とある当神社の建築に与るは深き縁因にあらん。山官最重とて、
 一、地理相火(精神)の木氏と魂明あるは、
 二、必要せず、故に余の功存あるは、
 三、を慮り、甲再嚴ヨミて人として、
 四、空さる事、乙祭典に不都合なく、
 五、便利なること、甲乙理想(都市)に於ける場合である。

- 一、敷地の相違に廣き事
- 二、審美せる民家より隔離する事
- 三、水道が都合よく都市の中心に通らる便あり
- 四、遊歩の地帯あり
- 五、敷地に樹林あり
- 六、敷地に花池あり、一部は遊歩地帯あり
- 七、建物の具足する事
- 八、様式の整へる事
- 九、相等の規模(大さ)を有すること
- 十、防火設備を有すること
- 十一、諸設備の全き事
- 十二、敷地を擴張して約の三倍せり、
 十三、廣さを厭はず

才二は自然に邊を以て限らる

才三も理想也

才四はや、遺憾あり今後、時は俟つ

才五は理想的

才六の遺憾あきま至れり

殊に宝飾館を備へて

才七ヨリも擴張せられ、拜殿の如きは旧の三倍の大さあり、先は遺憾ナレ

才八實現地とあり、係数大に割へり、各字は統一あり、一聯トシテ一塊の精神も保つ

才九工費の問題あり、は出来得る上、かの精巧と審し自ら満足なり

才十屋根が銅及瓦とあり、別は防火設備の出来て安心あり

才十一燈籠、コト木柱等必要を備へ、餘りなきを求めず

以上述べる如く、理想的に出来る、不足らざる点は、今後之を補得べきは之を補ふなり

要するに東北に於て、有数の「百才」の神社たるべしと思ふは、

ふふ一年の後に全く完成せる上きて、

事實は〇七ん。

才二は自然に邊を以て限らる

才三も理想也

才四はや、遺憾あり今後、時は俟つ

才五は理想的

才六の遺憾あきま至れり

殊に宝飾館を備へて

才七ヨリも擴張せられ、拜殿の如きは旧の三倍の大さあり、先は遺憾ナレ

才八實現地とあり、係数大に割へり、各字は統一あり、一聯トシテ一塊の精神も保つ

才九工費の問題あり、は出来得る上、かの精巧と審し自ら満足なり

才十屋根が銅及瓦とあり、別は防火設備の出来て安心あり

才十一燈籠、コト木柱等必要を備へ、餘りなきを求めず

以上述べる如く、理想的に出来る、不足らざる点は、今後之を補得べきは之を補ふなり

要するに東北に於て、有数の「百才」の神社たるべしと思ふは、

ふふ一年の後に全く完成せる上きて、

事實は〇七ん。

議院建築様式論
外観向題八個人のテスト



アラビア文様に就て

- 一、緒論
- 一、サラセンの特色の一—文様
- 一、分類—文字文様—スラタイド、
- 一、動物紋—アラビアから特祭、
- 一、幾何紋及其発達
- 一、から草紋及其の発達—アラビアから
- 一、幾何及から草の混成
- 一、動植の混成
- 一、印度との関係
- 一、支那との関係
- 一、日本との関係
- 一、西洋との関係
- 一、結尾

建築と何ぞや

生活改善の爲、住宅改善の爲、住宅ノ本義ヲ正解セザレバ改善ハダメニ
改善のつもりで改善心、向上のつもりで下
住宅改善論者ハ物質的能率ノ偏ス
縮小主義便利主義其秀ヲ小なる極度
カサテ、世智辛チラ一層、世智辛チラスニ諸
アムヒリシタ、趣味ノ住宅心要、これ即チ
精神的能率。

物質能率ヨリシテモ精神能率患ケレハダメ。
人間ハ有情の動物思掛ニアラズ。
理屈詰メハ行カヌ情ヲ満足スルヲ要ス
要スルニ任人ニ由リ場所ヨリテ選擇ヲ異
ニス、一律ノ行のぬ。

建築決定義ハ困難

又ア住ハヒ人ヲ収容スル構造物トシテ土地
ニ固定スルモトス。
殊ニ住宅ノ主要部、分トト白キ。
建築業ハ既往ハ藝術ノ一科(今、政意味ト
考ヘラレ)
その支動として構造ノ科と考ふる説云
日本デチ工科大学、工業学校、美術学校
取扱ハ奥相基不明ト知ルカ如キモ道理ある
と考ふべし。

若シ外観木造トシバ画家でも出来て
若シ構造木造トシ土木機械家でも出来
と共に間違て居ル。
今日ほとと異ナル考ふるも、生活本位コレナ
リ、外観構造の主從論モアツル所、道
ナリ主從ナシ、更ニ上、超越セル生活本位
ハ二者ヲ調知レテ之ヲ兼トス、生活ノ主ト
スルナリ。

材料強弱中、空気と光線の問題

暖房換気の問題、給水排水の問題等
物理的ニ解決シテモ、之ヲ實際ニ都合
ヨク爲メテ生活ノ適快ニシ、一家和樂ニ
得ルニ於テ、ヨク建築家ト稱スルハ、
之ハ材料を分析して蛋白質脂肪金水度
素分値推積スルニ定量シ、この食物を
若干量何から何熱量を得るか、解決
シテモ、それが適當ニ調理ナレバ長
ナリ出来ス、それが全ク無味アトハ難シ食
ハス、強テ食テモ、胃ニ思ハレ消化セズ、何モ
イラス、調理法ヲ安チテ始メテ有効ナリ
食膳ニ上テ舌餡打ニ食食ニ由テ宮
養食にもある。

この調理法は特殊の専門に属す。

材料適當ニ調理シテ、ウマイ家は、
人に愉快に住らせろのが、
建築家の職あり。

建築家の職あり。

建築家の職あり。



	(乙)	(甲)
管原	200	200
加茂	100	100
木村	500	500
小倉	1000	800
伊東	500	300
	2300	1900

小倉家	
管原	200.
加茂	100.
木村	500.
小倉	500.

今後の建築

人生本位ニ向ヒ、
 人生、社會狀態ハ、遷移シテ、建築等ハ、
 亦、遷移シ、ナラズニ、確立ハ、不合理、
 要す。是ニ、既往ハ、建築等ハ、為シ、
 今後ハ、人間、為シ、建築等、
 既往ハ、事物、為シ、建築等、
 今後ハ、社會、為シ、建築等、
 國民、爲シ、之ヲ、覺り、テ、始めて、良建築、出
 建築、盛衰、獨リ、覺り、テ、國民、覺ラズ、ハ、何
 せん、
 世人、の、覺、醒、ヲ、切望ス、
 住宅、改良、ハ、斯、如ク、モ、テ、授、具、ニ、出、現、セ、ラ、ル、ん

心理から建築から見へ (新日語)

信仰の建築 偉大魁力、カナル、東大寺
 技巧の建築 清き情緒、ミナト、心カラス
 夢理の建築
 生活の建築
 利慾、運稱、成金式

能率と家

1. 近頃能率の流行は昔より著しく、
 2. 能率の如く、
 3. 能率の如く、
 4. 能率の如く、
 5. 能率の如く、
 6. 能率の如く、
 7. 能率の如く、
 8. 能率の如く、

名譽と留費

1. 名譽と留費の關係、
 2. 名譽と留費の關係、
 3. 名譽と留費の關係、
 4. 名譽と留費の關係、
 5. 名譽と留費の關係、
 6. 名譽と留費の關係、
 7. 名譽と留費の關係、
 8. 名譽と留費の關係、

隠れたる努力

1. 隠れたる努力の重要性、
 2. 隠れたる努力の重要性、
 3. 隠れたる努力の重要性、
 4. 隠れたる努力の重要性、
 5. 隠れたる努力の重要性、
 6. 隠れたる努力の重要性、
 7. 隠れたる努力の重要性、
 8. 隠れたる努力の重要性、

建築と哲学

1. 建築と哲学の關係、
 2. 建築と哲学の關係、
 3. 建築と哲学の關係、
 4. 建築と哲学の關係、
 5. 建築と哲学の關係、
 6. 建築と哲学の關係、
 7. 建築と哲学の關係、
 8. 建築と哲学の關係、

世間的の大建築は撒落せる表現

11 信仰の表現が大物蓋
 12 皇位の表現が大宮殿
 13 威力の表現が大京の宮殿
 14 神聖の表現が大園の御堂
 15 皇位の表現が大宮殿
 16 皇位の表現が大宮殿
 17 皇位の表現が大宮殿
 18 皇位の表現が大宮殿
 19 皇位の表現が大宮殿
 20 皇位の表現が大宮殿

皇族方き尊崇シ奉テ送

一 世間の皇族は最大威礼ヲ捧フト云フ
 二 夫れ門連テアル
 三 元元大匠皇族大將權ヲモ指
 四 皇族の一言と感泣と行と感泣は皇族の
 五 皇族赤人ヲシテ人として取扱ハレザル
 六 今自正室ヲ尊崇シ奉テ意味は於そ
 七 之に對する態度を改めよ
 八 終に多難らし

建築と心理

- 一 建築建築と云ふ住宅
- 二 住宅と云ふ能率
- 三 又も物質的の作り
- 四 方面をかねて見よう





學者の慣値

一 學者トニテ文字から誤解ヲ生ス
 一 多ク知リ人ト重宝カラルル能ニアラズ
 一 コレハ物識リテアズ生キタ百科全クニアル
 一 學者ハ独自の識見ヲ立テル能カラズ
 一 多クハ同時ニ物識リ
 一 多クハ物識リハ學者ニ非ス
 一 物識ハ材料同屋
 一 學者ハ之ヲ組立テル人
 一 物識ハ玉石混雜ニ採集ス
 一 學者ハ砂ヨリ珠ヲ選ビ出ス
 一 歴史ノ史料ノ反邦史
 一 オースタインの新學を説
 一 田口の餓タルハ人良物
 一 頭腦の餓タルハ學問、藝術
 一 學者

一 孔子曰……我ハ蛇ヲヒキリニ云ハク
 一 學者ハ世情ニ透ト云フ、迂人モアラズ、目露ノ手
 一 知ラザル人アリ、ニテ知ラザリシ人、其ハ故
 一 是故礼セシ人義大史話ニ驚キタル人、群計ト嘲
 一 笑フ勿レ、



テグラ
 言語道断 (手倉)
 魁頭 (旧名魁切部) 魁
 全沢踏沢間通路
 多賀城
 領守府 晴澤
 武則ヨリ家術まてー金沢柵



Nendo
is
Mendo



中村
塚本 (理事)

庶務 伊東
會計 關野
編輯 大熊

坂本	南南	金子	奥水
伊東	大江	松空	大塚
關野	蘆野	青地	安間
大島	井上	中里	田中
大熊	阪谷	長谷川	飯田
天沼	岸	入江	總
大澤	塚本	木村	
武田	木子	氏家	
佐々木	鶴飼	小村	
土屋			

會員五百名、公費特別員

一〇〇、五十人
五〇、四百人

基金金券募集
其全金堂堂萬円

雜誌發行六百部
二四〇円
三五五円
雜費 (三七五円)

美建英亡國ヲ備

一ヶ年ノ新築家屋	人口七十方ノ對シ、十五方 大興 改修	二十万 五万 二万	美ヲ欲スルノ心理 十方美建築ヲ力メテ其 君世帯ニ欲スル心理 貴族ノナラザルニ 獨費的ナラズ 自ラニ對シテ的ナラズ Y&Cノ藝術ヲ解カレシス
一軒 25坪	3000		
一軒 20坪	2000		
	60000000		
六億円	五億 六億 七億		

設備費——衣ノ食ト内聯
生活費 墮落
心算的 墮落
衆著ヲ作テ國ヲセム
Kamak & New Empire 最期
Babylon 城
Kachlora bath
S. Peter
S. Sophia, Versailles
Valli, 王宮
阿房宮

日本漢學堂
憂フル勿僅ニニ千万円
費ハ富貴階級ニ次建築
人ノコト見テ不快
在陰思志
建築ノ美ヲ欲スル動機
美ヲ好ムコト
美ハ全ク別個ナラズ
聽者ノ心
コト心國々ス足

建築家の態度 我々の建築の將來

1. 序言 諸君ト會シテ我々ノ一職ヲシテ
2. 建築家ノ創立ヲ祝ス。
3. 建築家ノ團結ノ必要。
4. 建築家ノ努力ノ一柱ニ注意—コロネードノ威力
5. 田米建築ノ美ヲ稱—總督府ノ警備問題
6. 建築家ノ發奮
7. 建築家ノ使命ヲシテ建築家ノ何
8. 建築家ノ理想
9. 建築家ノ理想
10. 幸ニシテ大體徹徹セテ人ノ生れテノ
11. 煩悶ノ舞臺—清盛ノ香
12. 三十年来ノ建築ノ自ラノ
13. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
14. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
15. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
16. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
17. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
18. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
19. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
20. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
21. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
22. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
23. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
24. 建築家ノ使命ノ不明—建築家ノ
25. 前途遠逝—煩悶!

印度

識知學科

陸月記



ましろひ
島廣
HIROSHIMA

うでいさ
條田
SAIJO

三日月の夜
うでいさ
ましろひ
島廣の
うでいさ

日本

すゑ
水原
SUIGEN



朝鮮

六月

月七



- ◎ 建築の生存競争
1. 現代の建築界
 2. 生存競争
 3. 優勝者い誰
 4. 周末の思想界と孔子
 5. 藤健平凡の終句勝利
 6. 水飯的建築
 7. 作家としての立場

子才権

一世の才子は若くして、実利実用外一切趣味を去り、趣味は無用なりと、常に極論を以て、襟飾り文は、平素ウツキキら居る博士
 二、藝術家を以て任し、人から認められたい藝術論ヲマル術ヲ芝居モ淨瑠璃モ見ルヲ聞カシムルヲ無イ見テモ聞キモ感シケイト云フ博士。



改水利

弁慶士上衣服ヲ脱ぎ、泥ヲ判事のホケトモり物ヲ出し食ふ學生、先生の兄は公園ノ五里自衛隊入結、並車ヲ戸一掃り止るに大文吏云々、ハシムルヲ無感限

毎月四講
 序論 六講
 総論 六講
 各論 六講
 合十七講四年

- 一月 凍天星
- 二月 氷雪峯
- 三月 梅鶯
- 四月 櫻鶯
- 五月 新緑
- 六月 雨伽藍
- 七月 登山神社
- 八月 海氷浴
- 九月 月掃蟻
- 十月 秋早鳥
- 十一月 菊童子
- 十二月 枯野田家

形質美ト建築美ト建築美

名美の解剖的説明形より生
 材料より生ずる美
 外観より生ずる美
 色より生ずる美
 五、周囲との調和と美

材料木橋、枿架の鑑識

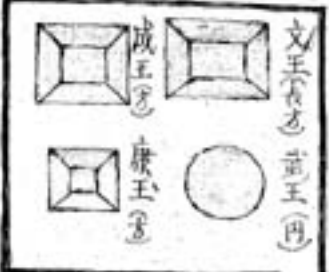
- 1 石橋アーチ式
- 2 鉄橋ビームに架
- 3 車馬の巻、平紐
- 4 船の巻、切り放り、虹形
- 5 六人の巻、装飾の巻

全体のプロポーレシ

- 1 枿以下
- 2 特殊の装飾
- 3 実例及批判
- 4 高欄
- 5 装飾物

寺田権一
三宅碩丈
栗原王業
松波孝実
持田輝十郎
信太時尚
内田更石
柴四朗
伊瀬知中特
今井清彦
阿部浩
阿部浩
早川十吉郎
大井憲太郎
次島憲法郎
山形仲藝
河路公篤
藤井恒久
小牧昌業
坪井玄道
中島永元
田中不二

光山名政
矢島権子
新家孝正
宮川川保全



漢陵 スクエア
畢原周漢陵暮散布

成王
元帝
文王
武王
漢陵



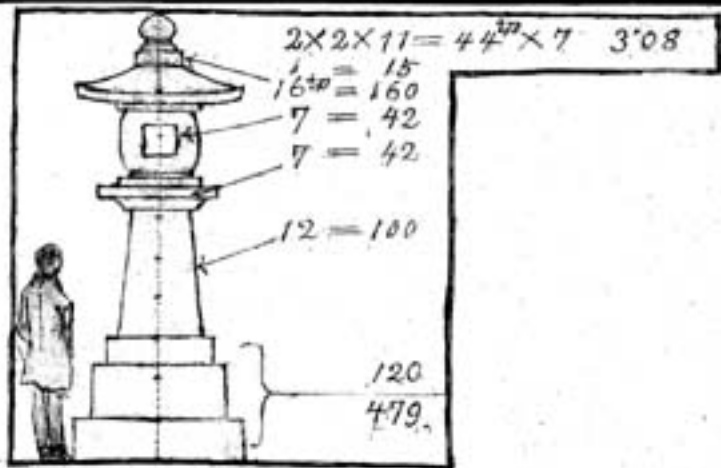
新峠代



- 1 明治時代ノ意義 南洋の大陸の世界的ハ
- 2 建築界ノ光景 都市ノ壯觀, 普立派ハ舍ハ實器, 堂塔ニ棟駁
- 3 建築ノ目的ト進歩ト
 - 一 重要スルテ今日ノ建築ノ進歩ハ目的の進歩ニ對テハ位置ニ, 若シテ進歩ノ進歩ト見ル。
 - 建築ノ進歩ニ對テハ目的ハ何, 目的ハ何
- 4 進歩ノ意義 建築ノ大規模ノ, 裝飾ノ, 堅固ノ, コレヲ古代ノ如クス。
- 5 進歩ノ原因 目的ハ社會及人類ノ幸福ノ爲ニ,
- 6 進歩ノ現象 科學ノ進歩, 思想ノ進歩, 技術ノ進歩
- 7 改革ノ比較 (既耐火耐震, 人間本位(利便, 衛生), 迅速, 施工, 經濟)
- 8 前途ノ進歩 建築ノ及ビテ, 日本ノ建築, 明治以來改革ニ從
- 9

物質的進歩ノ思想ニ由リ, 今ノ建築ノ比較ニハ, 心理的ニ大ニ切, 形ハ心ハ出ル, 心理ハ形ニ由リ, 建築ノ進歩ハ, 眞人ノ形ハ心ハ出ル, 形ハ心ハ出ル, 心理ハ形ニ由リ, 建築ノ進歩ハ, 眞人ノ形ハ心ハ出ル。

精心修養即建築進歩基。



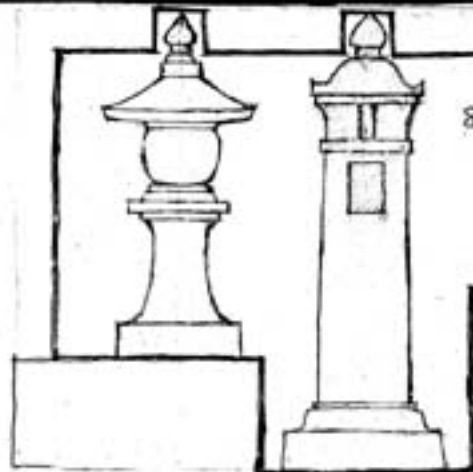
津田渡路(河二ノル)
後(辺)津
赤坂丹後(河)十一
上(遠)寺(寺)三(寺)下

1000000	四十支燈毛去 3000000	3 分	一 毛
	3000000		

三
分
三
毛

ロー子・ルーヴルを凌ぐ

凡王之蹟食用六穀履用六鞋
 饒用六清蓋用石有二十品珍
 用八物皆用百有二十毫
 六雅ハ馬牛羊豕犬鷄也



8000000 = 80ト
 80 / 8000000 / 100000
 十方クロー子 = 一井
 = 二内
 五方クロー子 = 一内
 $\frac{4}{50000}$ 内 = 一クロー子
 一クロー子 = 二毛



大正七年末		指数	
土敷	23437 棟	平家	193781 棟
⑧ 石造	1650	二階	162362
煉瓦	6946	三階上	7276
コンクリート	187		
木造	520732		
その他	365		
	<u>353419</u>		<u>353419</u> ⑤
⑫ 住宅	303152	倉庫	19921
官公庁	4767	工場	6145
官舎公舎	731	劇場娯楽場	351
学校図書館	3021	その他	5424
神社寺坊舎	4514		
銀行会館社	5191		

殿堂建築の語

一 原始時代の家

大社四ツ目

ニ 支那式の家

神明造—シメトリ 東宝殿(天廟)

三 十太京都の内裏

四 寝殿造

五 主殿造—田より出巻

六 書院造—田より出巻

七 茶亭

八 現今の住宅

和風 ワカ 朝鮮—大社造—般氏家

ナニカ 南洋

主殿 ↓ 書院造

大陸風

神明造—内 — 寝殿造

奇教は支那趣味

三皇、五帝、三才、五行、三山、五岳、五山、七曜

九曜、五色、五倫、五五、八卦

偶教は日本趣味

佛は奇教偶教混用

家族制度の關係

氣候風土の關係

材料の關係

外來の感化

山崎直方	三宅雄太郎	徳富猪一郎	徳富健三郎	大町柱月	巖谷小波	文士	權田雪舟	来馬瑞道	賀川豊彦	大谷光瑞	宗敬家	栗津子	中村不右	中村吉藏	黒田清澤	新沼竹齋	川合玉堂	横山大觀	宗家	
村川静六	三上静次	福田静次	大河政敏	斯波忠三郎	塚本清	山本三郎	末弘長	古野作亮	吉野作亮	山川新	高田早苗	鎌田直吉	山川新	高田早苗	鎌田直吉	山川新	高田早苗	鎌田直吉	山川新	高田早苗
清浦全吾	牧野忠厚	石黒忠厚	後藤忠厚	後藤忠厚	水野忠厚	三浦忠厚	加藤忠厚	矢野忠厚	野高忠厚	三浦忠厚	加藤忠厚	矢野忠厚	野高忠厚	三浦忠厚	加藤忠厚	矢野忠厚	野高忠厚	三浦忠厚	加藤忠厚	矢野忠厚
池田成彬	根野成彬	矢野成彬	藤山成彬	和田成彬	淡野成彬	大野成彬	加藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬	佐藤成彬

建築目的 種類 コリ 場所 コリ 途
 食、小児、老人、遊樂、労働、建築、教育、
 住宅、静養、住宅、官舎、住宅、一、大賞、一、大賞、
 目的適合ス。材料、構造、堅実、設備、安全、Comfortable、
 Plan Constantive filthys Education/ recreation
 経済的、力加ハルヲ要ス六ツOTA
 plan:
 (Conditions) 初期以来、木造、竹、木骨、木骨、木骨、木骨、
 木骨、鉄骨コンクリート、石造、煉瓦造、鉄骨、鉄骨、
 目下コンクリート造ハ僅カニ18% (大正七年)
 是ノ天然材料ツマハ、不慮歩(木、石)人工石、人工石ハ僅クシテ

	某富豪	某学者	某地主	某農	某職工	政治家
健康	-45	+20	-20	+90	+60	+80
匪害	-50	+30	+20	+50	+10	-80
安私	-30	+70	-70	+50	+10	-80
野祿	+95	-90	-10	-90	+10	+80
高位置	+30	-30	+60	-100	-90	0
合計	0	0	0	0	0	0



	甲	乙	丙
祖父	+60	+100	
父	-20	-20	+90
自	+40	-80	-20
子	-80		
孫			
合	0	0	0





1. 日本建築史、通觀三期進歩南洋、大陸、世界
2. 現代建築、智見、丸の内壯觀、一般民家、貧窮、甚以不統一
3. 進歩と見とる、進歩の相對性、如何に進歩力、退歩力
4. 進歩の何、建築目的の何、衣、食、住、關係
5. 食、穀米、原始的、加工の、人工の、一飯、充ち、美味の、營養の
6. 西露、凌、為、休、美、觀、俗、空、用、便、利、衛、生、の、為、
7. 實用、向、の、進、歩、Plan、學、識、豫、影、耐、火、耐、震、(純、平、分、位)
8. 便利、向、の、進、歩、設、備、基、礎、層、可、寢、室、(電、燈、電、話、瓦、斯)
9. 衛、生、向、の、進、歩、採、光、換、氣、上、水、水
10. 文、化、主、義、能、率、主、義、利、と、害、單、純、生、活、の、理、想、の、寬、築、の
11. 食、の、營、養、と、美、味、の、調、和、營、養、許、の、目、的
12. 住、の、利、便、と、快、感、の、調、和、實、績、許、の、目、的
13. 最、終、建、築、の、實、例、觀、丸、内、ビ、ロ、ン、グ、東、東、會、館、帝、國、ホ、テ、ル
14. 將、來、の、進、路

●私の母は故事紙が何 伊東忠大

より好きで、嬉も少しおくれた。私は漸く乳
 放れし頃から、母の膝に抱かれながら、
 カチカチ山平桃太郎の物語を聞かせられ、
 母は大きくあつてからは、蚊の夜長に三蔵大史
 や白鍵唯志と身を衰へ深く面白く聞かされたが、
 今でも母の口から居る母の遺傳を聞かされたか、
 私は子供の時から、床の間の懸燈籠のソチのけり
 して講史小説の類を耽讀し、殊に太平記八代
 傳三田史などを暗誦して居り、母の口から、
 然るに、母の口から、母の口から、母の口から、
 私は幼めは地団太を踏んで口惜とあつた事蹟の
 中、小説のあるやを俗に引き出して、耽讀
 に、飲念が、母は親心で定めて、母は親心で
 泣いて居るだらうと思つて、ソチの外から、
 見ると、母は相違して居る。母は相違して居る。
 呆れたのであつた。私は又幼少の時分、母は
 が、繪巻手紙を寫した。イタケア、西の好き、
 獨りよ居んで居たりで、母は太は、紙を、
 が、で置け、大人いと云はれたので、三つ見、
 百造と云ふのが、今でも、私は、
 書を、乱讀することが大好きです。

又、随分茶目で有り、その上、面白く、
 見ると、母は相違して居る。母は相違して居る。
 呆れたのであつた。私は又幼少の時分、母は
 が、繪巻手紙を寫した。イタケア、西の好き、
 獨りよ居んで居たりで、母は太は、紙を、
 が、で置け、大人いと云はれたので、三つ見、
 百造と云ふのが、今でも、私は、
 書を、乱讀することが大好きです。

子は明治四十三年四月十一日は、津國津市、
 日蓮上人二十日に日本に於て、
 は東京に在り。突然、母は死す。

●殿堂建築の話

- 一 建築の各方面
 - 二 仏寺建築の最高海時代
 - 三 法隆寺と東大寺
 - 四 法成寺と鳳凰堂—金色堂
 - 五 禪刹
 - 六 墮落と終末期
 - 七 現代の佛寺
-
- 一 建築の各方面
 - 二 原如時代の宮室大社造と神明造
 - 三 平安の宮室
 - 四 寝殿造
 - 五 武家造—書院造
 - 六 茶の勢力と感化
 - 七 現代の住家

① 猪(藝術上の)

② 十二支の猪正倉院石鏡山墓誌銘

③ 墓飾としての石猪

④ 摩利支天の猪

⑤ エワンゲリストの猪

⑥ 石エリアの猪形

⑦ エトレスクの猪

⑧ 猪に関する傳記

⑨ 猪に関する俚諺

⑩ 猪から豚へ

● 殿堂建築の語

① 語源— 建築史の時間上の区分としての

② 現代建築の進歩から既往を回顧して

古へ方が雄大、荘嚴、巧妙、美麗、現
に於て意匠に於て、裝飾に於て、

③ これを説明するに、口述の要、和、二、京
三、取。

④ 建物、偉大、あらゆるものを云ふ、余の辭、は

社殿に於て、出雲大社

佛殿に於て、奈良大佛殿

⑤ 宮殿に於て、京都大極殿

出雲大社の語

⑥ 大社の語源

⑦ プランの性質— 廻廊との關係—

⑧ 南洋との關係— 金輪齋造の—

⑨ 田のプランと民家

⑩ 東大寺の語

⑪ 起源— 三國へ大伽藍、你回王が寺—

⑫ 口聖堂— 正— 盧舍那佛— その大さ

⑬ 凡の内ルルン— 東京駅— 内部の— 裝束

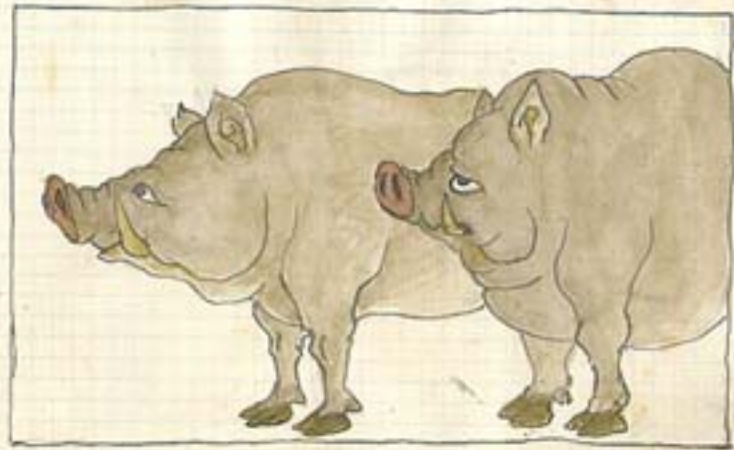
⑭ 支那式— 兩度の火災— 大修理

⑮ 大極殿の石— 平安京— 五部式アラン

⑯ 大極殿の形式構造— 大さ— 金剛玉砌

⑰ 聖元丹樓— 朱欄青瓦— 龍屋棟—

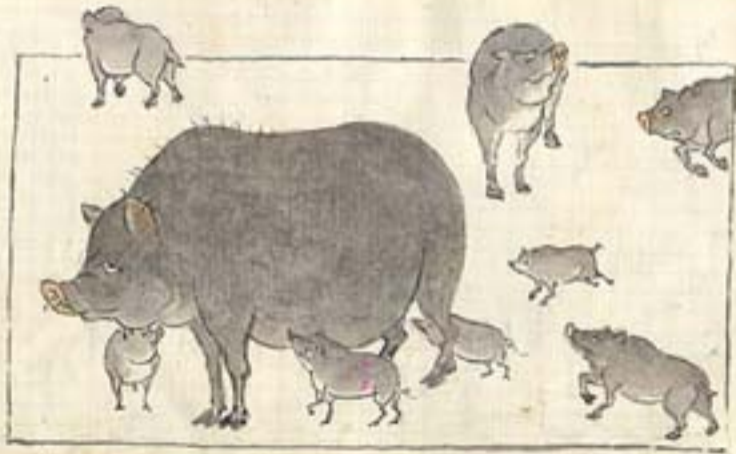
⑱ 青瓦白虎— 檼風廻り— 平安神宮



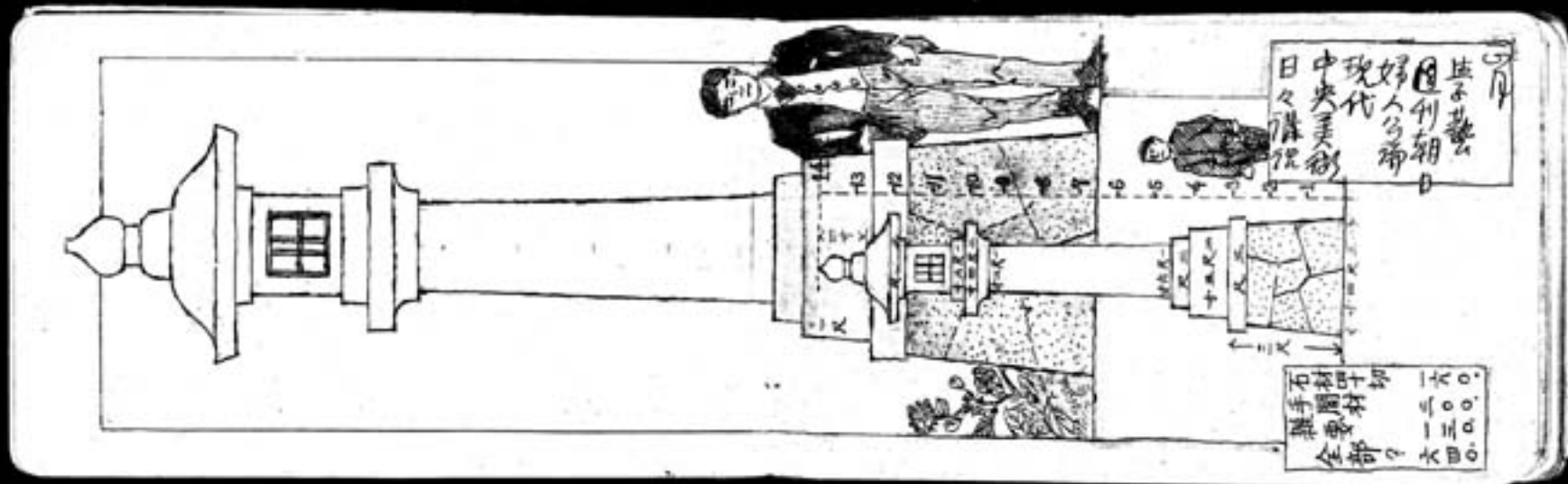
忠臣五段殿

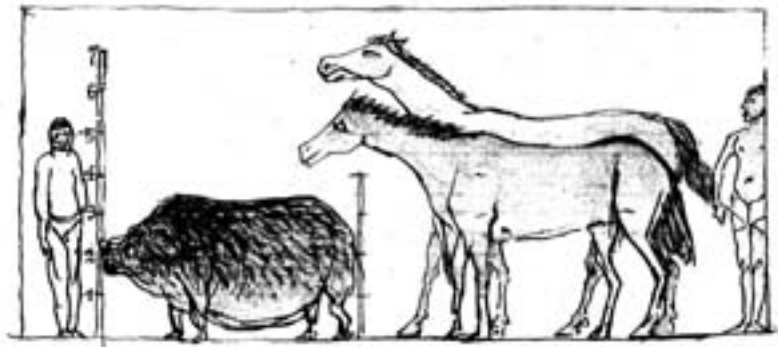


富士の巻狩



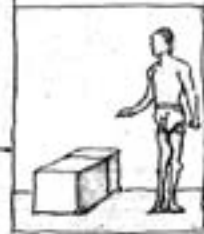






- 1 東京—鹿野山
- 2 鹿野山—長南—鏡子
- 3 鏡子—笠門
- 4 笠門—水海道
- 5 水海道—東京

250哩 四日 五日
25 + 48 + 40 = 113

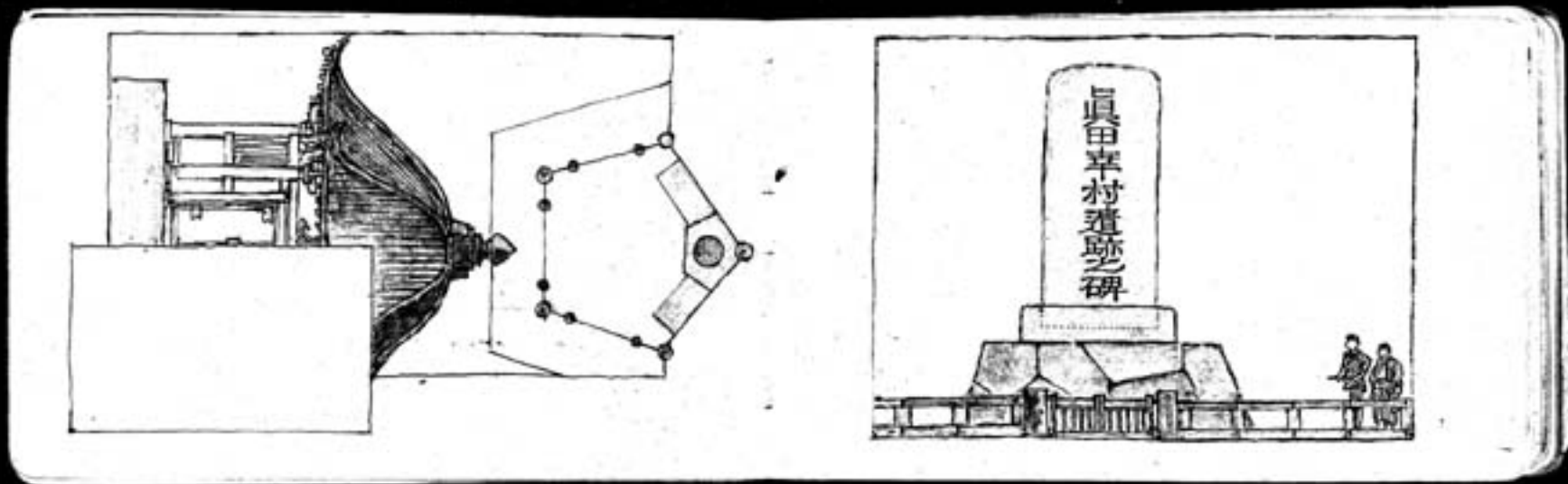


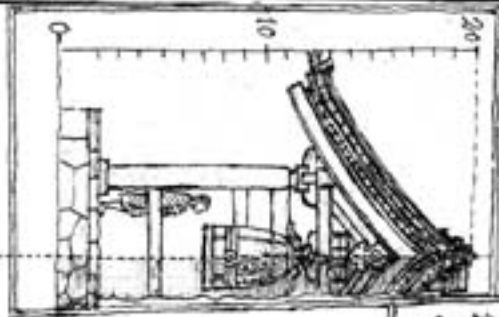
(七百五十万)	東京駅前	約 7500000	二千五百坪 X 70
(六百五十万)	天守の大仏殿	6000000	千三百十五坪 X 160
(七二十万)	内の光の寺	7200000	二千坪 X 100
	海上ビル	2300000	九百坪 X 90
(二千二百万)	セントピータース	32000000	四千五百坪 X 200
	ウオース	13000000	五百坪 X 700
	Pyramid	6220000	

朝鮮建築学会に於て、
先づ聯合大慶、
建築家努力すべき秋、
人に依頼されず、自己の堅毅し、更に
能事、我々の心を、建築家の研究を
念うのシンクを要す。
但建築家の為の建築家、人生の爲、
文化向上の爲、
人を指して建築家は、社会を指して建築
家は先づ之を研究せよ。
堅牢にして云は、便利にして云は、美し
と云ふ、何れも人生の幸福の爲なるや、

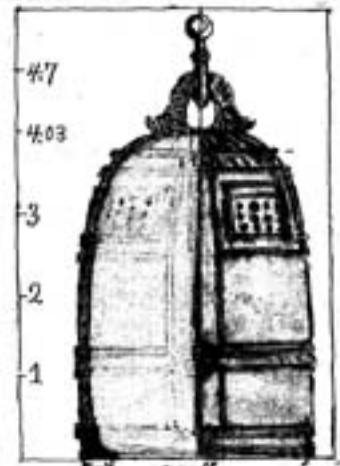
現代

- ① 余の仏教趣味
- ② 降魔に對する特殊の態度
- ③ 降魔の傳説に、和漢日歐文威力カサツ
画面の説明
(參考) 乃はヨラス
勿論空想
宗教画にアラス、風俗画にアラス、歴史畫にアラス
各畫當其生、又は画にアラス、カカ知れぬ
余の画家にアラス、画にアラス、カカ知れぬ
布定
描繪
色彩
気分
- ① 叙進つ偉大の學教に、自分の教訓とスル
現代の如何
一 邪淫の風盛あり
二 私情の爲に大業を失ハントス
三 威力に屈從セントス
之に打を勝ち、心理想ナルベシ
この因ヲ見ル、自ら激勵モチテ努力





柱	二坪	一〇〇〇	
地盤	石壇	七坪	一三〇〇
木料	大工	六〇〇	
手摺	屋根	十一坪	四五〇
合	額	三九五〇	



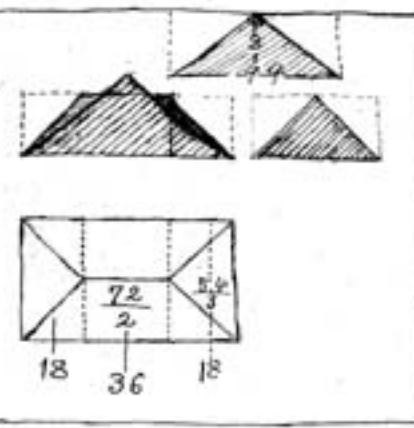
寸三 27"

動物		植物		字	
		11月	12月		
駱駝	鸚鵡	14	1	83	14
麒麟	鹿	15	2	84	15
狼	芍藥	16	3	85	16
狐狸		17	4	86	17
鳳凰		18	5	87	18
塔		19	6	88	19
珊瑚		20	7	89	20
鸚鵡		21	8	90	21
鸚鵡		22	9	91	22
鸚鵡		23	10	92	23
鸚鵡		24	11	93	24
鸚鵡		25	12	94	25
鸚鵡		26	13	95	26
鸚鵡		27	14	96	27
鸚鵡		28	15	97	28
鸚鵡		29	16	98	29
鸚鵡		30	17	99	30
鸚鵡			18	100	
鸚鵡			19		
鸚鵡			20		
鸚鵡			21		
鸚鵡			22		
鸚鵡			23		

58494-300

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \\ \hline 72 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 18 \\ 36 \\ 18 \\ \hline 72 \end{array}$$



六月十九日

文化村

- 1 宏 1 V 簡易型
- 2 アタカク屋 2 V 米式漬物
- 3 樋口 3 V
- 4 鏡高 4 女性の系列
- 5 小澤外形 5 流正
- 6 生活館 6
- 7 息田 7 V
- 8 志永 8 V
- 9 連根共栄 9 V
- 10 日本文化 10 V
- 11 上野 11 V
- 12 飯田 12 V
- 13 木田 13 V
- 14 木村金住 14 V

和設破

- 1 住友 1 大岩名
- 2 三輪 2 ハナヤカク 観ナカ
- 3 中山本陽 3 社大ニヤ 快調 美麗
- 4 香田 4 若僑青 ナカ 流正
- 5 文具 5 菅大 規 規 ナカ 雄大
- 6 手毛 6 田中 意 意 (ナカ)
- 7 斎藤 7 徳安 小ナカ 徳安 ナカ 権助
- 8 日本堂 8 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 9 日本堂 9 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 10 日本堂 10 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 11 徳安 11 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 12 徳安 12 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 13 徳安 13 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助
- 14 徳安 14 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助

才三四

- 1 日本 豊大 田中 徳安 V
- 2 大岩名 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 3 日本堂 V
- 4 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 5 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 6 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 7 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 8 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 9 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 10 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 11 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 12 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 13 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 14 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 15 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 16 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 17 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 18 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 19 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 20 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 21 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V
- 22 徳安 徳安 ナカ 徳安 ナカ 権助 V



圖案に就て、屋根瓦、窓、門、
支那建築の趣味

建築の理想
 名譽と富貴
 人に表裏したる心
 冠履顛倒（相對の原理より見たる）
 様式の生存競争

建築と哲學
 修食と留田

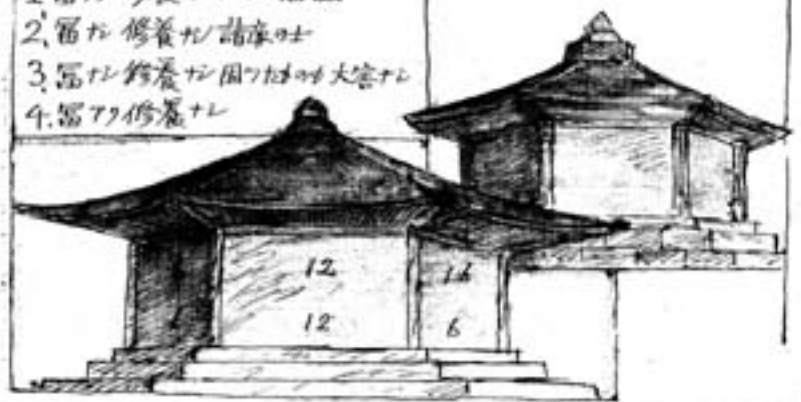


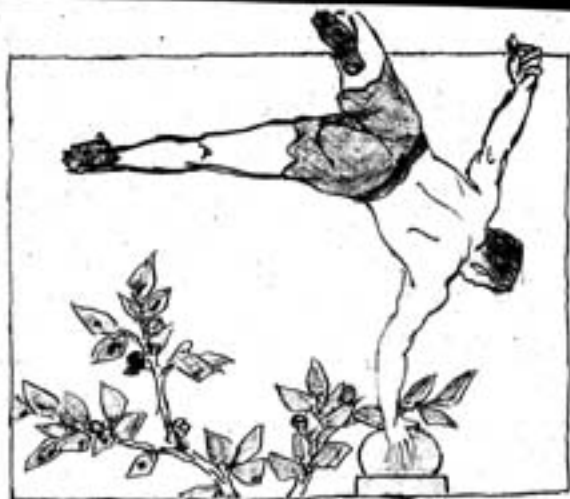
漢、滿、西藏、トルコ

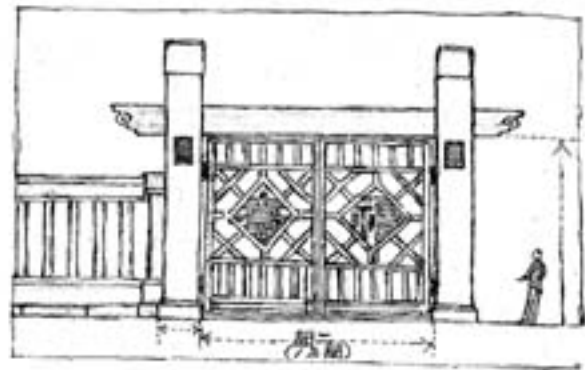
建築の數級

- 一 東宮御所は關する刺激記事
- 二 建築の興ある刺激は大門型
- 三 西洋人の強い刺激を好む
- 四 日常生活に見えぬ血熱が濃い
- 五 藝術の末期は一番の甚しくナル
- 六 飯家の末期は強烈ナルモノヲ好む
- 七 雜馬の末ルモノヤサシクモ本は之レ
- 八 空をサイエは其甚しきもの
- 九 東宮御所は其の模倣タカラク?
- 十 日本への終泊—先天的か
- 十一 支那の強さを發化せり
- 十二 西洋のものを消化せり
- 十三 日本住宅の雜味—人形室、遊休
- 十四 雜居、材料の性質、色、施設、先線
- 十五 脂肪の極い食物—西洋
- 十六 兼—野菜—日本
- 十七 湯次日本は洋化(所謂文化)
- 十八 御ち刺殺性—中毒
- 十九 タマに食ふもの—常食
- 二十 日本は此際猛省
- 二十一 中春より免しよ。

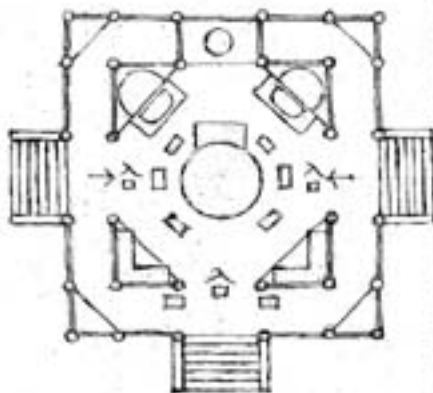
- (修養と富)四階級
1. 富ヲ修養ヲ円満福徳
 2. 富ヲ修養ヲ諸摩士
 3. 富ヲ修養ヲ因ヲはつ大富ナル
 4. 富ヲ修養ナル





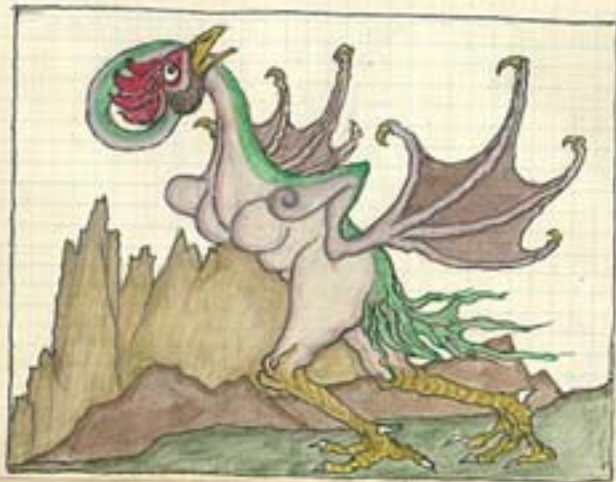


仁王 大食寺



○能卒と家

感一の好い人と悪い人とある
 感一のいふを得ると悪い人の損する
 家にも感一の好いものと悪いのがある
 好いのは住者も訪客も樂しく利を得る
 悪いのは大に損とする
 感相説のいふの辺には觸れて居る
 感一のいふ家とは何
 大工をして住へれば澤山と云ふのと
 専ら家もたらし白合や工更と賢くしたのと
 有異なる。



八月

18 紫山坊
 19 紫山海在
 20 箱根八景
 21 朝野一境
 22 庄一治
 23 庄一治
 24 庄一治
 25 庄一治
 26 .
 27 .
 28 .
 29 .
 30 .
 31 .
 1 . 御京
 2 .
 3 .
 4 .
 5 .
 6 東京

九月

御京

7 大社若
 8 博紅
 9 午後
 10 林田
 11 御京
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25

御京

26 御京
 27 御京
 28 御京
 29 御京
 30 御京
 31 御京
 1 御京
 2 御京
 3 御京
 4 御京
 5 御京
 6 御京
 7 御京
 8 御京
 9 御京
 10 御京

▲井上 毅
●中井 弘
●陸奥宗光
●白旗次一
●志井安三郎
●児玉源太郎
●小村春太郎
▲西村格三
▲山田信造

●伊藤博文
●近御篤磨
□川田小一郎
▲佐野常民
▲伊藤重賢
△磯河篤
●北齋山房
●西郷從道
●末松源澄
●神尾松壽
▲渡辺千秋
□安田善次郎

△山縣有朋
●大隈重信
●桂太郎
●原敬
●長谷川武秀
△柴田宗門
●林 義
●三崎龍之助
△井上友一
△久方久元
△神山寶地
▽山島信雄
池田義壽
中井田倉之助

●辰野金吾
●石見辰二
又堀尾實務
又石川素重
又嶋野黙齋
又日置黙仙
◎流血流
X下條十雄
X寺崎康榮
X岡倉第三
X橋本雄一郎
△妻木頼黄
△片山承太郎
X岩村造
X川端玉章

◎高山林太郎
◎藤岡作太郎
◎平子 尚
◎青山胤通
◎星野 恒
◎西野安禪
▽渡辺洪屋
◎加藤武之
▲菊地大麓
●外山五一
◎坪井正五郎
◎大森治豊

X西内正卿
△辻新次
◎伊沢修二
●川島甚兵衛
●佐藤進
手嶋精一
阪田貞一
福島安正
伊藤平在工門
三井義之助
北家 龍
江川 八郎

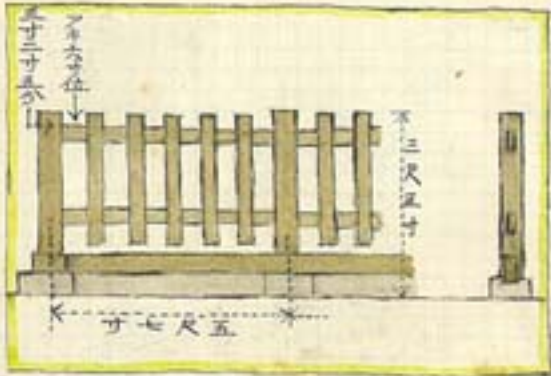
野口一大郎
書木則敏
品川滋次郎
坪井正五郎
箕作元八
酒井佐保次
木下廣次
古莊嘉門
千田貞曉
北畑園道
赤林太郎
高木兼寛
燒正輝
小杉樞郎
黒川貞頼

●政治家列女
△友史軍人
□実業家
X藝術家
◎學者
●宗敎家
●雜

坂野 龍
蜂須賀 大
綱島直武 楊
榎木口羊六
山長谷川方助
正谷林之助
原松參太郎
岡高峯 吉

佐田平五郎





公園名	公園の人口	人口	人口一人に付公園面積
東京公園	357068坪	6086	0.16
ロンドン		373	2.68
パリ		453	2.21
ニューヨーク		563	1.77

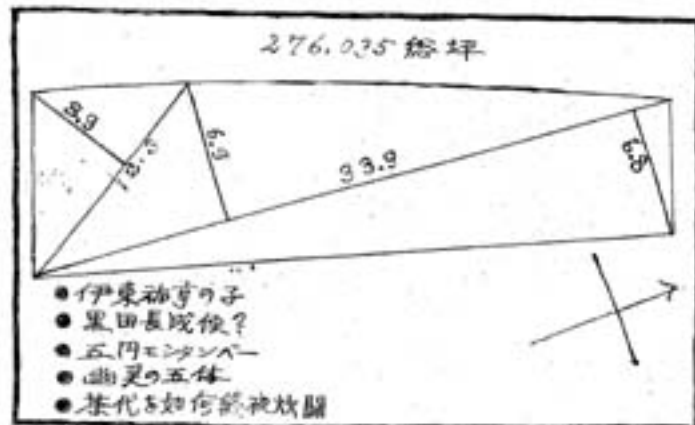
六月中	七月中	八月中
1 永濱隆三	15 東伏見宮依仁親王	30 中川八郎
2 瀧井大王	16 モナ王アルバー	31 木村長七
3 池田岩治	17 タケヨネスコ	32 グリスス
4 西郷宗子	18 園師民島	33 ノースクワ
5 増田貫一	19 賀田金三郎	34 三井得右工門
6 松尾廣三	20 吉田荒太	35 寺戴完
7 布毛谷右工門(出羽)	21 森林太郎	36 エンツルハク
8 櫻庭莖村	22 夏忠基	37 渡辺和太郎
9 ケハロー・ケラン	23 林田春潮	38 深谷敬一
10 奥倉守之助	24 近藤虎五郎	39 エカエハコリス
11 松浦玉園	25 伊達宗曜	40 大橋正淳
12 佐廷考	26 乙倉太郎乙	41 高村正徳
13 ヲテナウ	27 高峯讓吉	42 高村正徳
14 アリアム・ロックス	28 ノエハナリ	43 藤倉隆
	29 アレクサンダー	44 渡多野改直
	30 グラハム	45
	31	

支那の人口 甲子夜話

1 漢平帝	59574978.	可人衆密博
2 後漢一帝	46017756.	開堂教習
3 晉大業二	16160000.	益
4 隋大業十	46010000.	益
5 唐天寶十	52910000.	益
6 宋皇祐元	43820000.	益
7 金泰和七	45810000.	益
9 明永樂元	66600000.	益
12 清乾隆四	388400000	口不暇
8 乾隆四	60545872.	暇史
10 嘉慶四	53287108	夕
11 同治六	60692856	夕

	坪	坪	小計	合計
1. 土庫	16%	450,	75240.	
門			2000.	
道所	75,	350,	3500.	833650
2. 庭園			2500.	
家具			3500.	
庭園			1000.	8000.0
庭園			1000.	
設計監督		板脚 150. 10%	2500.	
現場費		板手 72. 0	3090.	
事務費		4A. 0	560.	
備品			500.	
旅費			100.	
式費			500.	
設備			1800.	
			500.	10840.0
				101405.0

● 1 神土は職工	ヒロン	21 大森の産
● 2 八甲田と八陣積	新島一島城	22 彌太敷の産
● 3 跡足は五ヶ所	アソグーン	23 烏カスの産
● 4 天壇	北京	24 船渡
5 天壇	ア	● 25 海原城と武庫
6 天壇	ア	● 26 山谷の産
7 天壇	ア	27 智度窟
● 8 開寺窟	ア	● 28 開所の墓
9 文廟	ア	● 29 秋の水鏡寺の門 (散置野面)
10 張の窟と神神窟	ア	30 モー沢山 (中村氏のシレンバツザ跡)
11 直観	ア	31 豊友 (古村氏の墓の跡)
● 12 名塚のて瀬川領事		32 仙田磯山法師
13 須賀の石の墓神塚		33 孤産の玉座
14 須賀の位置、生命、香、アソグーン		34 世襲七音 (アソグーン)
15		● 35 秋の産 時大森郡
16 須賀の産アソグーン		● 36 須賀の産アソグーン
17	ア	37 須賀の産アソグーン
18	ア	38
19	ア	39
20	ア	40



漫画? 確異天良, 仁田四平, 早野操平

序言 猪ノ新ナレトモ家ヲ以テ之ニ代ル。
 家ノ動物學上ノ名
 支那ノ家ノ家數以口吻多シ家ハ牛ノ高シ
 家ト家。
 家ヲ料理。



米國建築

Charles Mc Kim 伊去初建築ヲ輸入セリ
 事務所 在田川ノ385分セリ

住宅不足	米	百萬	斬	不足
	英	八十	万	〇
	仏	五十	万	〇
	和	五十	万	〇
	獨	八十	万	〇
	全世界	五百	万	〇

- H. H. Richardson 1821-1896
- R. W. Hunt 1827-1895
- Louis H. Sullivan
- Mc Kim, Mead & White
- Copa & Steward
- Burrough & Root
- Cass Gilbert
- Frank Lloyd Wright
- Carroll & Blomella
- Tallmadge & Watson
- John S. Von Breegen
- White & Christie

Sullivan 弟子

Expressionism
 Futurism
 Simultaneous
 New Formalism



●旅行旅館旅館

本末旅館の女茶代は座止しをせぬが、
相場の座科も仕掛ふことし、
西洋風にも似て至極便利であるが、
喫ハ一得一失ありて備に足らず、
人前を、

但し目下次第の旅館に於ては茶代
を受くる慣習ある以上茶代は、
適當に辨いさるべからず、旅館は取つて
も前泊料支りては到るを引き合ふもの
に非ざれば此節は茶代の支給を、
期待して居るものである。

女中茶代は心附に茶代の座止と否と
聞らず、座科は必要である。
故に旅館は茶代を座止せざる旅館に
泊りたる際、その符邊に座して
自ら適当なる方あり茶代及女中への
心附けを注意せよとして居る。





隈	堂
權	越
塩	所
錦	鏡
	近

名古香市西込
 七四八、今井方
 因幡所

大槻才光

秋田市西根少尾町末丁九
 山田長好

鎌倉
漫画
漫談

